

(様式第1号)

平成30年10月30日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : 心理・社会的支援に関する領域

科 目 名 : 地域に対するプログラムの企画

単 位 数 : 2単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 一般社団法人三重県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 514-0004

三重県津市栄町3丁目243 関権第3ビル602号室

電話 : 059-264-7741

FAX : 059-264-7742

E-mail : mie\_kaifuku@ybb.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : (一社) 三重県介護福祉士会 印

申請責任者 : 大田 京子

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙1～3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 \_\_\_\_\_

(※は記入しないでください)

### 認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成30年10月30日
申請団体名	一般社団法人 三重県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 大田 京子
申請責任者職名 申請責任者氏名	三重県介護福祉士会 研修担当 森 聖志
団体住所  同 Tel・Fax メールアドレス	〒514-0004 三重県津市栄町3丁目関権第3ビル602号室 Tel:(059)-(264)-(7741) Fax:(059)-(264)-(7742) E-mail:mie_kaifuku@ybb.ne.jp
申請対象の領域	領域名:心理・社会的支援に関する領域
科目名(単位数)	科目名:地域に対するプログラムの企画(2単位)
申請する研修名	
研修認証実績	年 認証番号( ) 年 認証番号( ) 年 認証番号( )
その他特記事項	

別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	心理・社会的支援に関する領域	
科目名	地域に対するプログラムの企画	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケアシステムにおける介護の位置や役割を理解させ、連携の視点を形成させる。</li> <li>・自分の地域における家族支援、地域連携、地域資源開発などの具体的な取り組みを学習し、地域の課題やニーズに応じた自職場のプログラムを企画できる力を育成する。</li> </ul>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの考え方、政策や制度の枠組み、推進・連携の仕組みについて説明できる。</li> <li>・自分の地域の地域ケアシステム構築の取り組みの現状と今後の課題を踏まえ、自職場の立ち位置や役割、今後の活動方針について説明できる。</li> <li>・地域の課題やニーズに応じた家族支援、地域連携、地域資源開発、介護職への研修支援などのプログラムを企画できる。</li> </ul>	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括ケアシステムの考え方と構築に向けた課題</li> <li>・地域医療（認知症医療を含む）、地域リハビリテーション、生活支援サービスの開発と多様な地域資源・活動の開発、ニーズに応じた住まいの確保・マッチングと住まい方の支援等</li> <li>○自分の地域における地域ケアシステム構築の課題等の把握の調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険事業計画の分析と今後の地域課題やニーズの分析</li> <li>・地域における家族支援、地域支援、多機</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★課題学習【事前】（4時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師が指定する地域包括ケアシステムに関する文献を読み、内容や疑問点等を要約し、不明な点を調べておく。</li> <li>・自身の施設・事業所のある市町村の介護保険事業計画、地域医療計画を読み、自分の地域で今後発生するニーズ、不足する社会資源、医療－介護連携、認知症や互助等との連携の課題、自職場の役割や事業展開の方向等について、レポートにまとめ提出する。</li> </ul> </li> <li>★1日目 <ul style="list-style-type: none"> <li>○講義（2時間）「地域包括ケアシステムの考え方と構築にむけた課題」…地域包括ケアシステムが政策課題となった背景、医療－介護連携（地域リハ、地域連携パス・退院支援等）、認知症（初期集中支援チーム、認知症ケアパス等）、介護予防・生活支援サービス、居住支援などシステムの構成要素とされるものの内容と課題、そのなかでの介護及び介護福祉士の役割、介護者支援など、全体像を概説。</li> <li>○講義と情報共有（1時間）「地域共生社会の実現に向けて」…が政策課題となった背景、制度内容、包括的支援体制、思想と社会的意義を理解し、その中で介護及び介護福祉士の役割など全体像を分かち合う。</li> <li>○講義ないしは事例報告（2時間）「地域連携の具体的な取り組みの実際」地域医療と介</li> </ul> </li> </ul>

関・多職種連携、居住問題等への取り組みや課題の調査

○地域の課題やニーズを踏まえた家族支援、地域連携、地域資源開発などのプログラムの企画

護連携（地域医療、認知症医療、地域リハビリ、地域連携バス退院支援等）、認知症、介護予防・生活支援サービス、居住支援などの事例を具体的に紹介し、その取り組みの実際を学ばせる。

○講義（1時間）「地域課題の抽出とプログラムの企画」…地域の課題やニーズを踏まえた家族支援、地域連携、地域資源開発などのプログラムの企画の視点・方法について説明する。

○演習（2時間）「地域課題の抽出とプログラムの企画」…共通事例に基づいて、地域課題を抽出する視点、自地域を念頭にした今ある資源・不足する資源やプログラムの検討、自職場で取り組むことが考えられるプログラムを検討。個人作業とグループでの相互評価を通して、課題分析からプランを構築する過程を体験的に学ぶ。

★課題学習（中間課題）6時間 「自地域の課題を抽出し、分析したうえでその課題解決にむけた自職場でのプログラムを企画する」（課題を提出）

★2日目

○講義（1時間）「課題抽出とプログラム企画のポイント」…参加者が提出した中間課題を踏まえて調査し、課題抽出とプログラム企画における留意点、この後の演習における相互評価の視点を教える。

○演習（4時間）「プログラムの相互評価」…グループに分かれ、受講者が各自企画したプログラムを報告。他のメンバーはその企画に対してよりブラッシュアップさせる視点から質問・改善提案等を行う。受講者はメンバーからの意見をうけ、当初案の課題をまとめる。

○発表とコメント（1時間）…各グループで選んだプログラムをいくつか発表し、講師がさらにプログラム企画の視点・留意点を指摘する。

○講義（1時間）…「プログラムの実行にむけた合意形成・地域との協働」…プログラムの実施に移していくための組織内の合意形成プロセス、地域との関係づくり、協働などの視点を理解させる。

○評価及び解説（1時間）

★課題学習（事後課題）4時間

・演習で受けた評価に加え、上司・同僚・地域の連携先の専門職や地域住民等からの意見をもらい、プログラムをブラッシュアップし、提出。評価を受ける。評価や意見が反映されていること、ブラッシュアップが適切になされていることを評価の基準とする。

含むべきキーワード	地域包括ケアシステム、介護保険事業計画、地域医療、認知症医療、地域リハビリテーション、地域連携パス、退院支援、小規模多機能、地域ケア会議、地域包括支援センター、介護予防・生活支援サービス、インフォーマルな資源・活動、サービス付高齢者住宅、公営住宅、家族支援、介護者支援、地域資源開発
研修方法	<p>■集合研修</p> <p>■課題学習は評価は担当講師が行う。</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。</p> <p>○演習はグループ演習とし、講師が巡回指導を行う。</p>
研修時間	30 時間（集合研修 16 時間、課題学習 14 時間）
修了要件	<p>○全課程出席を要する。やむを得ない事情「公共交通機関等の影響、冠婚葬祭等」による遅刻、早退については10分を上限として認める。集合研修に関しては、10分を超える遅刻、早退の場合、別途課されるレポート課題により代替することを可能とする。</p> <p>○修了評価は筆記試験（50 問程度、100 点満点中 60 点以上が合格）</p> <p>○欠席の場合は修了を認めない。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること</li> <li>・修士課程を修了している事が望ましい</li> <li>・地域に対する支援プログラムを企画・実施した経験のある有資格者（介護福祉士、主任ケアマネ、社会福祉士、保健師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士等）が望ましい</li> </ul>
(2)受講者について	
受講対象(受講要件)	I 類を修了している事
修了評価	<p>修了評価は以下により行う。</p> <p>①出席状況が修了要件を満たしていること。</p> <p>②筆記試験（50問程度、100点満点中60点以上が合格）</p>
(3)研修の環境条件	
定員(講師の配置基準)	15名（講師：1名）
開催場所(都道府県)	三重県介護福祉士会（三重県津市栄町3丁目243関権第3ビル2階研修室）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等（届出事項）

(1)研修の実施予定	
実施日	① 平成 31 年 月 日 ( )
	② 平成 31 年 月 日 ( )
開催場所(会場)	① 三重県介護福祉士会 研修室 (津市栄町3丁目243関権第3ビル)
	② 同上

(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<p>NPO法人 ホットスペース中原 東京基督教大学兼任講師 佐々木 炎 氏</p> <p>保有資格 介護福祉士、主任介護支援専門員、サービス管理責任者、介護教員講習会終了</p> <p>略歴（職歴、社会活動歴） 職歴 1991年 日本社会事業学校専修科卒 1991年～1993年 特別養護老人ホームめぐみ園にて介護職員として勤務 1993年～1998年 NPO法人「在宅ケア協会」に介護職員として勤務 1998年～現在まで ホットスペース中原 代表 「住み慣れた地域で最期まで」をコンセプトに包括的なサービスの提供をしている。当事者・家族・各専門職・ボランティア・地域の方々とのコミュニティの形成をしている。 2004年～現在まで 社会福祉法人愛隣会 理事 2016年～現在まで 社会福祉法人牧之原やまばと学園理事</p> <p>教育活動： 2008年4月 東京基督教大学専任講師（2009年3月まで） 「介護概論」「社会福祉学」「形態別介護技術」 2009年4月 東京基督教大学非常勤講師（現在に至る） 「人間の尊厳と自立」「社会福祉学Ⅰ」「公共福祉学」「コミュニケーション」等 2011年4月 読売理工福祉専門学校 非常勤講師（現在に至る）「人間の尊厳と倫理」 2018年4月 上智大学グリーンケア研究所非常勤講師</p> <p>ファーストステップ研修講師 「ケア場面の気づきと助言」 実施支部 静岡、群馬、福井、三重、大阪、鳥取、熊本、鹿児島、沖縄、 京都、滋賀</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本介護福祉士会認知症専門研修講師 「認知症の人の共感的理解」</li> <li>・認定介護福祉士講師</li> </ul> <p>その他： 日本スピリチュアルケア学会講師</p> <p>書籍等 ・「人は命だけでは生きられない」（いのちのことば社） ・「福祉・介護におけるスピリチュアルケア」（中央法規出版）協力など</p>
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	<p>認定介護福祉士養成研修実行委員会（常勤：1名、非常勤：6名） 実行委員会事務局（担当事務局員、常勤2名） 研修実行委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認</p>

	し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する諸規程	三重県介護福祉士会の定款、生涯研修委員会の諸規程に準ずる。
研修管理責任者職名	会長
研修管理責任者氏名	大田 京子
機構問合先部署	三重県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	森 聖志
機構問合先電話番号/FAX	059-264-7741 / 059-264-7742
機構問合先 e-mail アドレス	<a href="mailto:mie_kaifuku@ybb.ne.jp">mie_kaifuku@ybb.ne.jp</a>
受講問合先部署	三重県介護福祉士会事務局
受講問合先担当者氏名	森 聖志
受講問合先電話番号/FAX	059-264-7741 / 059-264-7742
受講問合先 e-mail アドレス	<a href="mailto:mie_kaifuku@ybb.ne.jp">mie_kaifuku@ybb.ne.jp</a>
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	三重県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○紙媒体及びデータによる台帳管理</li> <li>○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は、紙媒体で保管する。</li> <li>○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。</li> </ul>
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発行する。
管理責任者氏名	大田京子（会長）
管理担当者氏名	稲木千泰（担当の事務局員）

## 別紙 1

## 認定介護福祉士養成研修時間割表

領域：心理・社会的支援の領域

科目名：地域に対するプログラムの企画

(1日目)平成31年 月 日

区分	科目名	時間	内容
	受付	8:30~9:00	
1・2	○地域包括ケアシステムの考え方と構築にむけた課題 ・地域医療（認知症医療を含む）、地域リハビリテーション、生活支援サービスの開発と多様な地域資源・活動の開発、ニーズに応じた住まいの確保・マッチングと住まい方の支援等	9:00~10:30	○講義「地域包括ケアシステムの考え方と構築にむけた課題」…地域包括ケアシステムが政策課題となった背景、医療-介護連携（地域リハ、地域連携バス・退院支援等）、認知症（初期集中支援チーム、認知症ケアパス等）、介護予防・生活支援サービス、居住支援などシステムの構成要素とされるものの内容と課題、そのなかでの介護及び介護福祉士の役割、介護者支援など、全体像を概説。
	休憩	10:30~10:40	
	○自分の地域における地域ケアシステム構築の課題等の把握と等の調査 ・介護保険事業計画の分析と今後の地域の課題やニーズの分析 ・地域における家族支援、地域支援、多機関・多職種連携、居住問題等への取り組みや課題の調査	10:40~12:10	○講義と情報共有「地域共生社会の実現に向けて」…が政策課題となった背景、制度内容、包括的支援体制、思想と社会的意義を理解し、その中で介護及び介護福祉士の役割など全体像を分かち合う。 ○講義ないしは事例報告「地域連携の具体的な取り組みの実際」地域医療と介護連携（地域医療、認知症医療、地域リハビリ、地域連携バス退院支援等）、認知症、介護予防・生活支援サービス、居住支援などの事例を具体的に紹介し、その取り組みの実際を学ばせる。
	休憩	12:10~13:10	
3	○地域の課題やニーズを踏まえた家族支援、地域連携、地域資源開発などのプログラムの企画	13:10~14:40	○午前の続き ○講義「地域課題の抽出とプログラムの企画」…地域の課題やニーズを踏まえた家族支援、地域連携、地域資源開発などのプログラムの企画の視点・方法について説明する。
	休憩	14:40~14:50	
		14:50~16:20	○演習「地域課題の抽出とプログラムの企画」…共通事例に基づいて、地域課題を抽出する視点、自地域を念頭にした今ある資源・不足する資源やプログラムの検討、自職場で取り組むことが考えられるプログラムを検討。個人作業と



			グループでの相互評価を通して、課題分析からプランを構築する過程を体験的に学ぶ。
--	--	--	---

(2日目) 平成31年 月 日

区分	科目名	時間	内容
	受付	8:30~9:00	
1.2	1日目の続き	9:00~10:30	○1日目の続き ○講義「課題抽出とプログラム企画のポイント」…参加者が提出した中間課題を踏まえて調査し、課題抽出とプログラム企画における留意点、この後の演習における相互評価の視点を教える。
	休憩	10:30~10:40	
		10:40~12:10	○演習「プログラムの相互評価」…グループに分かれ、受講者が各自企画したプログラムを報告。他のメンバーはその企画に対してよりブラッシュアップさせる視点から質問・改善提案等を行う。受講者はメンバーからの意見をうけ、当初案の課題をまとめる。
	休憩	12:10~13:10	
3.4		13:10~14:40	○午前の続き ○発表とコメント…各グループで選んだプログラムをいくつか発表し、講師がさらにプログラム企画の視点・留意点を指摘する。
	休憩	14:40~14:50	
		14:50~16:20	○講義…「プログラムの実行にむけた合意形成・地域との協働」…プログラムの実施に移していくための組織内の合意形成プロセス、地域との関係づくり、協働などの視点を理解させる。 ○評価及び解説
	休憩	16:20~16:30	
		16:30~17:15	筆記試験

(1時間は45分換算とする。)